

第 2 回	<p>テーマ：発達 の原理原則</p> <p>発達検査を学習するうえで基礎となる人の発達 の原理原則に関する理論を紹介する。また、発達検査が用いられる領域や場面、対象者などについても解説する。</p>
第 3 回	<p>テーマ：発達検査 1</p> <p>発達検査のうち遠城寺式乳幼児分析的発達検査を取り上げ、検査の特徴、実施方法、使用場面等について解説する。その後、ペアや小グループに分かれ、検査実施の演習を行う。演習を通じ、乳幼児の発達を捉えるための細やかな視点や多角的な視点について理解を深める。</p>
第 4 回	<p>テーマ：発達検査 2</p> <p>発達検査のうち新版 K 式発達検査を取り上げ、検査の特徴、実施方法、使用場面等について解説する。その後、各受講生に複数の検査課題を割り当て、検査課題の実施方法の確認、練習を行う。</p>
第 5 回	<p>テーマ：発達検査 3</p> <p>受講生は、事前に割り当てられた新版 K 式発達検査の検査課題の実技を披露する。実技や他者の実技を観ることで、乳幼児の発達を捉えるための細やかな視点や多角的な視点について理解を深める。</p>
第 6 回	<p>テーマ：発達検査によるアセスメントに基づく支援</p> <p>新版 K 式発達検査によってアセスメントした事例を提示し、検査結果からどのような支援が有効であるかディスカッションを行う。</p>
第 7 回	<p>テーマ：知能検査 1</p> <p>田中ビネー知能検査を取り上げる。検査の成り立ちや実施方法について解説する。</p>
第 8 回	<p>テーマ：知能検査 2</p> <p>ウェクスラー式知能検査について、検査の特徴や実施方法について解説する。その後、小グループに分かれ、検査課題の分担を行う。受講生は担当した検査課題の実施方法の確認、練習をする。</p>
第 9 回	<p>テーマ：知能検査 3</p> <p>グループごとに、受講生はウェクスラー式知能検査実施の実技を行う。実施者以外の学生は、検査実施の様子を観察課題する。実技やその観察通し、検査課題の意図や実施時の留意点について考える。</p>
第 10 回	<p>テーマ：知能検査 4</p> <p>引き続き、グループごとに、受講生はウェクスラー式知能検査実施の実技を行う。実施者以外の学生は、検査実施の様子を観察課題する。実技やその観察通し、検査課題の意図や実施時の留意点について考える。</p>
第 11 回	<p>テーマ：知能検査によるアセスメントに基づく支援 1</p> <p>ウェクスラー式知能検査を実施した事例を提示する。検査実施に至る経緯や検査結果報告書の実際、検査結果の活用方法について解説する。</p>
第 12 回	<p>テーマ：知能検査によるアセスメントに基づく支援 2</p> <p>ウェクスラー式知能検査によるアセスメントから支援へと展開した事例について紹介する。事例に関する感想、考察についてディスカッションも行う。</p>
第 13 回	<p>テーマ：知能検査によるアセスメントに基づく支援 3</p> <p>ウェクスラー式知能検査によってアセスメントした事例を提示し、検査結果からどのような支援が有効であるかディスカッションを行う。</p>

第 14 回	<p>テーマ：知能検査によるアセスメントに基づく支援 4</p> <p>ウェクスラー式知能検査によってアセスメントした事例を提示し、検査結果からどのような支援が有効であるかディスカッションを行う。</p>
第 15 回	<p>テーマ：まとめ</p> <p>これまでの学習内容を振り返りを行う。まとめとして、発達アセスメントに関する注意点についても解説する。</p>
テキスト	授業中にプリント等を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>『公認心理士の基礎と実践 1 4 ー心理的アセスメント』 野島一彦・繁柝算男（監修） 遠見書房</p> <p>『子どもの理解と支援のために 発達アセスメント』 本郷一夫（編） 有斐閣選書</p> <p>『新版 K 式発達検査 2001 実施手引書』 生澤雅夫・松下裕・中瀬惇編著 京都国際社会福祉センター</p> <p>『田中ビネー知能検査 V』 杉原一昭・杉原隆監修 田研出版</p> <p>『日本版 WISC-IV 知能検査法』 David Wechsler 著 日本版 WISC-IV 刊行委員会訳編著 日本文化科学社</p>
課題に対するフィードバックの方法	レポートのコメントや質問は適宜取り上げて、授業内で補足や返答をする。
学生へのメッセージ・コメント	<p>発達心理学 I、臨床心理学概論、カウンセリング論、障害者心理学を受講していることが望ましい。受講生には、発達検査や知能検査の実施を体験してもらう。検査方法を確認、練習し、授業内で実技の発表が求められる。</p> <p>また、事例検討などを通じ支援の在り方について積極的に考え、意見を表明する姿勢が求められる。</p>

